

第4章 重点事業実績評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	平成31年度 目標	平成29年度実績	評価	検証・分析
基 2-1 No.4	教育・保育施設同士の連携強化と積極的交流	子育て推進課 (子育て施設担当)	一貫した就学前教育・保育が行えるように、教育・保育施設同士の連携や積極的な交流を図る。	地域における就学前施設間の交流会開催	充実	【保育所実施分】延べ44回 公立幼稚園：33回 私立保育園：9回 すくすく学級：2回 音楽会、図工展、作品展、小学校まつり、給食体験、1年生を迎える会 その他、図書室開放、体育館開放	A	【量的評価】 プール開放、校庭開放等、小学校との交流が多岐にわたり増えた。(子育て推進課) 前年度に比べ、交流会の開催回数及び参加者数が増加した。(学校教育課)
		学校教育課				【幼稚園実施分】延べ63回 公立保育所：33回 公立幼稚園同士、私立保育園等：30回 幼稚園にて保育士が一日体験を行い、幼児の生活や遊びについて具体的に交流をした。また、地域の幼稚園と保育所の子どもたちが互いの施設を行き来して一緒に遊んだり、小学校の施設を利用して交流する機会をもったりした。		【質的評価】 小学校と交流をしたり、連携を取ったりすることで、子どもたちの就学への期待が高まった。(子育て推進課) 幼稚園と保育所生活の流れや乳幼児への関わり方を学ぶことができ、相互の保育について理解を深めることができた。(学校教育課)
基 2-1 No.5	幼稚園教諭、保育士の人材育成と資質の向上	子育て推進課 (子育て施設担当)	幼稚園教諭、保育士、保育教諭等としての資質や指導力の向上のため、研修、実習等を通じた人材育成の充実を図る。	就学前施設における合同研修会の参加者数	407人	【保育所実施分】延べ472人参加 全体研修：1回(延べ211人) 統合保育研修会：5回(延べ192人) 夏季研修：10回(延べ69人) 近隣の幼稚園、保育園にも研修会を案内した。	A	【量的評価】 全体研修の参加者数が前年度より増加した。また、統合保育研修会(要配慮の子どもへの関わり方の研修会)の回数も増えた。(子育て推進課) 教育委員会主催の幼稚園教育研究会及び研修会を合同研究会、研修会として実施した。また、前年度に比べて研修会の参加者数が増加した。(学校教育課)
		学校教育課				【幼稚園実施分】延べ440人参加 就学前施設研修会：3回(延べ102人) 幼稚園・保育所・小学校合同研修会：1回(延べ62人) 幼稚園グループ研究会：5回(延べ81人) 特別支援研究会：3回(延べ137人) 市指定幼稚園教育研究会：1回(延べ58人)		【質的評価】 市内の就学前施設の職員対象の全体研修と各保育所で行う職員向け研修には、近隣施設に案内文を送付して参加を呼びかけた。研修会を通して、芦屋市の保育の質の向上につながった。(子育て推進課) 研修を重ねる中で、発達に応じた援助や幼児の姿に応じた環境構成について共に学び、共有することができた。(学校教育課)

第4章 重点事業実績評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	平成31年度 目標	平成29年度実績	評価	検証・分析
基 3-1 No.1	地域における子育て 支援活動	学校教育課	あしや市民活動センターや幼稚園、保育所等の公共施設を利用し、子育ての情報交換・団体間交流・ネットワーク化を図り、地域における子育て支援活動の充実を図る。	公立の全幼稚園での未就園児とその保護者に対する施設開放実施回数	304回	幼稚園の空き教室や園庭を地域に開放した。 延べ920回 未就園児交流会：延べ74回 園庭開放：延べ526回 3歳児親子ひろば：延べ300回 オープンスクール（各幼稚園2，3回）：延べ20回	A	【量的評価】 前年度より、園児数は減少しているが、施設開放実施回数は増加した。 【質的評価】 3歳児親子ひろばが定着した。保護者から園庭開放の実施時間の拡大を望む声もあり、時間については改善の工夫が求められている。
基 3-1 No.3	公共施設の有効活用	子育て推進課 (こども担当)	公的施設を子どもの居場所として有効活用できるようにする。	子どもが利用できる公共施設の周知	充実	子育てサポートブック発行：3,000部 子育て情報誌「はぐくみ」発行（年1回） 子育てアプリを積極的に活用し、市内の保育所・幼稚園・子育てセンター・図書館等で実施している未就学児対象のイベントに関する情報発信を行った。また、保護者が情報に触れる機会として有効なプッシュ通知設定を必ず行い、登録者の目に情報が触れる機会を増やした。	B	【量的評価】 子育てアプリの活用に加え、子育てサポートブック「わくわく子育て」を市内の各公共施設に配布した。また、子育て情報誌「はぐくみ」で平成29年度中にリニューアルした宮塚公園について取上げ、親子が遊べる場所について情報提供を行った。（子育て推進課） 職員による点検に加え、専門業者により95公園443基の遊具を点検し、安全性を確保できるよう努めた。（公園緑地課）
		公園緑地課		子育て世帯又は子ども自身の公園ニーズを把握し、その結果を踏まえた公園整備の実施	充実	公園施設が安全・安心に利用できるよう、樹木及び遊具等の適正な維持管理を行った。	B	【質的評価】 市内の公共施設で年間を通じて定期的開催されるひろば事業や園庭開放等について、子育てアプリのイベント欄や子育てサポートブックに掲載するなど、より多くの保護者に情報提供できる仕組みを作っている。（子育て推進課） 職員による点検や利用者からの要望を出来る限り速やかに反映できるようハード面での維持管理を実施する共に、要望に応えることが出来ない場合でもソフト面で改善できるよう努めた。（公園緑地課）

第4章 重点事業実績評価

No.	事業名	担当課	事業内容	指標	平成31年度 目標	平成29年度実績	評価	検証・分析
基 3-2 No.2	犯罪等、子どもを取り巻く様々な危険性についての教育、啓発	子育て推進課 (子育て施設担当)	家庭、学校、地域及び関係機関が連携を図り、子どもや保護者に対して、様々な犯罪の危険性についての教育、啓発、情報提供等を行う。	子ども向けの防犯啓発リーフレット発行（新規事業）	実施	防犯訓練、災害訓練、避難訓練のいずれかを各園で月1回実施 交通安全教室：年2回 子ども向けの防災・防犯・交通安全啓発リーフレット「あしやこどもぼうさい」を保育士が主となり作成（平成29年4月発行）し、防災や安全の知識を増やし、自分の身の守り方などをまとめた。	A	【量的評価】 年2回交通安全教室を開催し、警察官や指導員から交通ルールを教えてもらった。また、子どもたちに不審者について行かない、助けを呼ぶなどの具体的方法を伝えた。（子育て推進課） 全小学校の3年生を対象にCAP講習会（子どもの暴力防止プログラム）を実施した。（学校教育課）
		学校教育課		警察との連携による防犯講習会の実施（新規事業）		CAP講習会：24回（913名参加） 交通安全教室：35回（3,496名参加） 芦屋市生徒指導連絡協議会：11回 芦屋市神戸市中学校生徒指導連絡協議会：3回 芦屋市・神戸市中学校生徒指導連絡協議会を開催し、神戸市東灘区と連携し、問題行動の未然防止・早期解決を図った。		【質的評価】 定期的に行うことで、子どもたちも安全意識を身につけていった。（子育て推進課） 講習会を開催し、自分の身を守る意識が高まった。協議会を行うことで、市内各校および他市との情報共有ができ、指導の充実を図り、関係機関との連携を図ることができた。（学校教育課）
基 3-2 No.4	交通安全の意識向上	建設総務課	子どもの交通安全を確保するため、不法駐輪及び不法駐車をなくし、自転車マナーを守るよう啓発活動を継続する。また「交通安全教室」や「出前講座」等の実施により、交通安全に対する意識向上を図る。	市内で起こる子どもの交通事故件数	14件	子ども（15歳以下）の市内での事故件数：19件 （平成27年度：15件、平成28年度：21件） 交通安全教室の開催：62回 幼稚園16回、保育所25回、 小学校16回、中学校3回、その他2回	B	【量的評価】 子どもの事故件数は、昨年度より減少した。 【質的評価】 前年度に幼稚園、保育所等で交通安全教室を受けた子どもたちが、直近で小学校において交通安全教室を受けることによって、より安全に注意することを学べてよかった。